

助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	インターネットを利用した DVD 等の視聴覚障害者用字幕、手話、音声ガイドの提供
助成対象事業者名	特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター
助成金の額	4,875千円

【助成対象事業の全般について】

① 助成対象事業の概要	主にバリアフリー化されていない DVD 等に字幕、手話、音声ガイドを配信するサービスの提供。アクセスに関わる公共的なアーカイブデータを構築し、その利用促進を行う。
② 助成対象事業の目標	既に実施している DVD 向け字幕配信を中心に、手話、音声ガイドにも対応し、ネット動画や業務用上映、更に博物館等の映像展示物にも拡大させる。音声透かしとスマホアプリによる新しいシステムの開発と提供を行う。新たに点字リーダー対応ソフトを開発する。

【平成26年度実施部分について】

③ 助成対象事業の実施内容	アーカイブと配信 実績数(予定数) 字幕数 29(20) 手話1(1 以上) 音声ガイド 13(5) 博物館・美術館 1(1 以上) 音声透かし配信実施テスト 6(5) 点字リーダーへの対応
④ 助成対象事業の成果	当初の予定数を上回る事業成果を挙げることが出来ました。今年度は、「音声電子透かし」と「スマホアプリ」を使った情報保障システムを中心に展開し、映画・映像制作時に音声透かしを挿入することをルール化することを提案。 (今後の展開) 議員連盟の後押しもあり、来年度、経産省を中心に劇場公開映画より、音声透かしを使ったアプリによる、情報保障実証実験を行う予定。
⑤ 補足説明事項	2016 年 4 月の障害者差別解消法施行までに、映画業界は視聴覚障害者へのアクセス保障のルール作りを行う予定。